

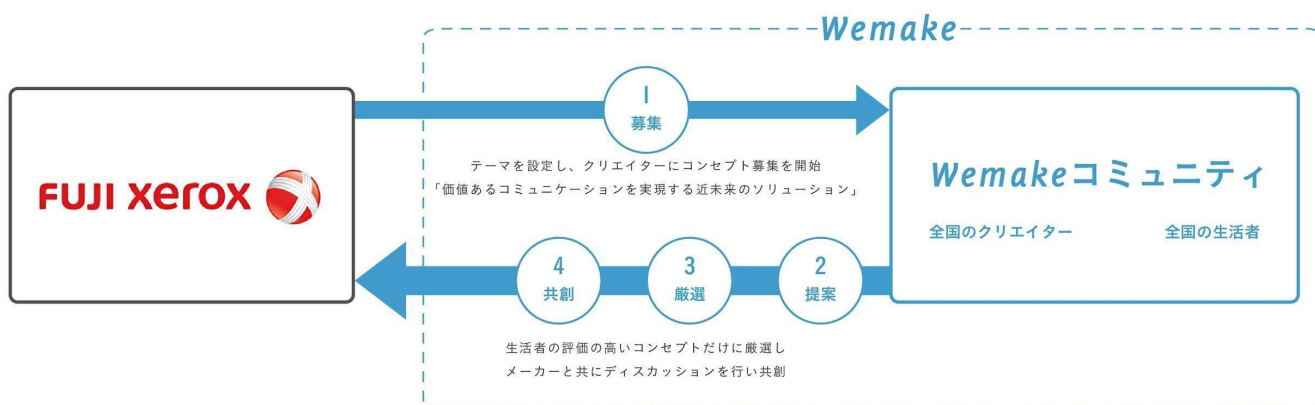
共創ものづくりプラットフォーム Wemake、  
富士ゼロックスの次世代ソリューションのコンセプト開発を支援  
～ 生活者とのオープンイノベーションによる開発プロジェクトをスタート～

株式会社 A（エイス：本社：東京都港区、社長：山田 歩・大川 浩基）は、富士ゼロックス株式会社（本社：東京都港区、社長：栗原 博）の次世代ソリューションやサービスに向けたコンセプト開発を支援するため、エンドユーザーから広くアイデアを募集し共に創りあげる、オープンイノベーションプロジェクトを12月9日より開始いたします。

このプロジェクトで富士ゼロックスは、初めて株式会社 A の共創（※1）ものづくりプラットフォーム「Wemake（ウィーメイク、<https://www.wemake.jp>）」を活用します。Wemake は、メーカーが全国の生活者と商品を共創できる、ものづくりのオープンイノベーション（※2）プラットフォームです。

富士ゼロックスは、Wemake を通じて一般の消費者が持つ課題やアイデアを取り込むことで社外の新しい発想を得て、そこに社内の技術力・ノウハウを掛け合わせることにより、既存の複合機事業に限らない広い視野で、お客様のコミュニケーションを活性化し、価値創造を支援する、本当に必要とされる革新的なソリューションやサービスのコンセプトが生まれることを期待しています。

本プロジェクトの流れ



※1: 共創：ここでは、「企業と生活者が1つのチームとして深く関係し合うなかで、思いもよらなかった新しい価値や商品を生み出すこと」を指します。

※2: 生活者：ここでは、「ほしい商品を自ら提案したり共に創る、能動的な消費者・クリエイター」を指します。

※3: オープンイノベーション：ここでは、メーカー社外の一般消費者やクリエイターの問題意識や、開発力を活用することで自社の課題を解決し、これまででない価値を生み出す試みです。

具体的には、富士ゼロックスが Wemake を通じて、近未来（2020年～2030年）のソリューション

やサービスアイデアを、約 1 万人いる Wemake の登録ユーザーから募ります。

投稿されたアイデアのなかから、Wemake に登録したデザイナーやエンジニアなどのコミュニティにおける投票を実施し、得票数上位のものを選抜し、特に優れたコンセプトアイデアを活用して、次世代のソリューションやサービスをオープンイノベーションによって作り出すことを目指します。

複合機はこれまで、オフィスコミュニケーションにおける中心的な役割をもち、企業の生産性や創造性の向上に寄与してきました。一方で情報技術の発展にともない、新しいコミュニケーションの世界の姿が現れつつあります。

本プロジェクトは、こうした新しい世界を前提とする近未来で「価値創造を支援するコミュニケーションとはどういうものだろうか？」という問いを、複合機を使用している生活者と共に考え、それを実現するソリューションやサービスのコンセプトを、既存の複合機にとらわれない発想で創りあげるプロジェクトです。

## ■ プロジェクトの概要

詳細はこちらのプロジェクトページをご参照ください。 (<https://www.wemake.jp/projects/4>)

### (1) プロジェクトの流れ

Wemake を介してプロジェクトへの参加者を公募し、参加者は 3DCG や文章による提案のほか、パワーポイント等のツールで投稿を行います。また、公募期間中、誰でも参加可能なアイデアソン(※)を 2 回行い、富士ゼロックス社員とともに、コンセプト開発を行う機会があります。

投稿されたコンセプトに対して、Wemake に登録する一般消費者が自分が「欲しい」と思うかを判断基準に投票を行い、その得票数の多寡によって約 100~200 案（想定）のコンセプトを 10 案前後に絞り込みます。

その後、ビジネス化を目指す、より具体的なコンセプトとするため、富士ゼロックス社員と Wemake の登録ユーザーが Wemake 上や対面の打ち合わせを通してさらなる改善を実施いたします。最終発表会で投稿者自らによるプレゼンを経て、受賞作品を発表します。

※ アイデアソン：アイデア (Idea) とマラソン (Marathon) を掛け合わせた造語で、ある特定のテーマについて、多様性のあるメンバーが集まり、対話を通じて、新たなアイデア創出やアクションプラン、ビジネスモデルの構築などを短期間で行うイベントのことを指す。

### (2) プロジェクトの特長

本プロジェクトでは、「価値あるコミュニケーションを実現する近未来（2020 年~2030 年）のソリューション」というテーマに沿ったコンセプトを、広く公募します。“機械のプロダクトデザイン”ではなく、“そのコンセプトによって実現されるユーザー体験のデザイン”をサブテーマとして設定することで、複合機が使われる状況や使う人の性格、利用されるシーン等の文脈を切り離さずに、商品コンセ

プトをつくり上げることができます。

### (3) 参加対象者

複合機を使ったことがある、あるいは使う機会のある生活者から広くコンセプトを公募します。

文章による提案のほか、パワーポイント等のツールでのコンセプト提出も可能にすることで、広い参加を可能にします。

### (4) 開催期間と応募期限

- ・コンセプト公募期間：12/9（水）～1/27（水）
- ・アイデアソン：12/20（日）、12/21（月）：同内容で2回開催
- ・第一回投票：2/27（土）～3/3（木）：約100～300案から10案前後に選抜
- ・共創によるコンセプト改善期間：3/16（水）～3/28（月）
- ・第二回投票：4/1（金）～4/3（日）：得票数でランキング付け
- ・結果発表：4/16（土）

### (5) 選定方法

Wemakeに登録しているユーザーの得票数を参考にして、検討対象となるコンセプトを選抜します。

その後、富士ゼロックスによる実現可能性、採算性、新規性等の検討を経て各賞が決定されます。

### (6) 応募者のメリット

評価フェーズの終了後、最大10点程度をファイナリストとして選抜し、その中から最優秀賞1点と優秀賞数点を決定します。最優秀賞1点には50万円、優秀賞2点には20万円を授与し、その他特別賞を授与する可能性もございます。

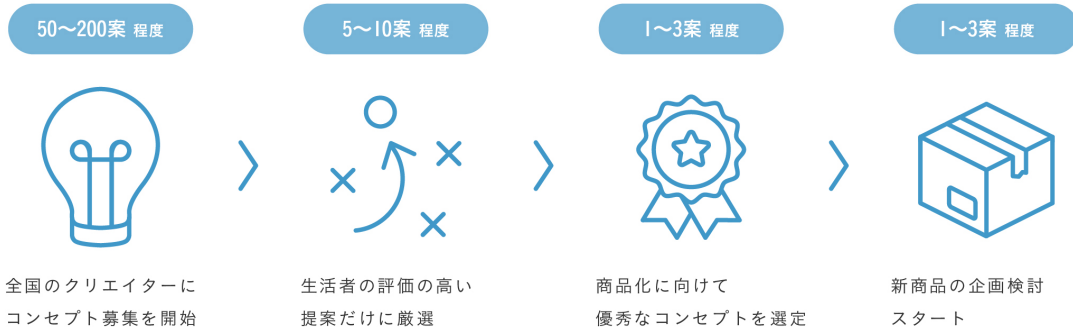
## ■ 3.Wemake について

Wemakeは生活者と企業が商品を企画から共創できる、日本最大級のものづくりプラットフォームです。ユーザーコミュニティには、プロダクトデザイナー、ハードウェアエンジニア中心に約1万人の生活者が登録しており、メーカー企業の公募するプロジェクトに参加して共同で商品開発を行います。

その際、テキスト投稿やラフスケッチではなく、3DCGか試作品の形式でコンセプトを視覚化することが条件（※4）になっているため、公募開始から販売まで最速半年程度というスピードでメーカー企業は商品を世に出すことが可能になります。現在までに累計で3,000件（100～200件/月）の商品コンセプト案が投稿されております。

※4：本リリースのプロジェクトでは、3DCGや試作品の形式に限らず、文章による提案のほか、パワーポイント等のツールでのコンセプト提出も受け付けます。

## 生活者とクリエイターとメーカーをつなぐ ものづくりプラットフォームWemake



### ■株式会社 A (エイス) について

会社名 : 株式会社 A  
代表者 : 山田 歩・大川 浩基  
設立 : 2012 年 4 月  
資本金 : 7,600,000 円  
本社所在地 : 東京都港区赤坂 2-22-18 福吉町アネックスビル 401  
URL : <http://www.8ce.me/>

### ■ 4.本プロジェクトに関する問い合わせ先

株式会社 A (「Wemake」の運営・本プロジェクトの主催)

担当 : 山田 歩 03-6759-8118 e-mail : [info@8ce.me](mailto:info@8ce.me)

広報代行 Innovation Bridge 瀧本裕子 090-2300-5942 email: [hiroko.takimoto@inbridge.jp](mailto:hiroko.takimoto@inbridge.jp)